



全国学力・学習状況調査 本校の調査結果の概要

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては日頃より本校の教育活動に深い御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、4月18日に3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果がまとめられました。その中で、「教科に関する調査」の結果から読み取れる本校生徒の傾向と課題及び改善の方向についてお知らせいたします。なお、今回の本校の調査結果は学力の一部であり、教育活動の一面であることを留意しながら、調査結果の分析から課題を明確にし、教科指導や特別活動などの指導にいかしていきたいと考えています。今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

1. 調査内容

調査は、次のような3種類の問題を使って行われました。

【国語】

- ・ 学習指導要領に示されている「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)(3領域1事項)に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題。

【数学】

- ・ 学習指導要領における、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題。

【英語】

- ・ 学習指導要領に示されている4領域(「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」)に基づいて、その目標や内容を踏まえ言語材料や言語活動をバランスよく出題。

2. 結果の概要

結果の概要については、学習指導要領で示されている国語・数学・英語の領域について、本校の平均正答率を全国の平均正答率(全国平均)と比較して5段階で表しています。

- ・ 高い……………5ポイント以上
- ・ やや高い……………3ポイント以上5ポイント未満
- ・ 同様……………±3ポイント
- ・ やや低い……………-3ポイント以下-5ポイント未満
- ・ 低い……………-5ポイント以下

※北海道教育委員会の分類方法(9段階)を5段階に修正しています。

3. 教科に関する調査結果 ※ 5段階

(1) 国語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>「話すこと・聞くこと」 ◇やや高い</p>	<p>・話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり相手に発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。</p>	<p>・目的や場面に応じて話し合い、自分の考えをまとめる力を身に付けるために、話すことに関する学習の充実。及び、聞くことに関する学習との密接な関連を図った学習の充実。</p>
<p>「書くこと」 ◇低い</p>	<p>・事実や事柄、意見の根拠を明確にして書くこと。</p>	<p>・目的や意図に応じて相手に分かりやすく書く力を身に付けるために、第1学年では根拠を明確にして書くこと、第2学年では相手に効果的に伝わることを意図して説明や具体例を加えたり描写を工夫したりして書くこと、第3学年では論理の展開を工夫するとともに資料を適切に引用するなどして書く学習の充実。</p>
<p>「読むこと」 ◇低い</p>	<p>・文章の展開に即して情報を整理し、内容をとらえること。</p>	<p>・文章の構成や展開を理解し、内容を的確に捉える力を身に付けるために、文章の特徴を把握するとともに、これまでの読書経験や体験などを踏まえ、内容や表現を、想像、分析、比較、対照、推論などによって相互に関連付けて読む学習の充実。</p>
<p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 ◇低い</p>	<p>・封筒の書き方を理解して書くことができる。</p>	<p>・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して書く力を身に付けるために、毛筆を使用する書写の指導と硬筆を使用する書写の学習の充実。また、その能力を日常の生活に役立てるような学習の充実。</p>

(2) 数学

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「数と式」 ◇低い	<ul style="list-style-type: none"> 連立二元一次方程式を方針に基づいて解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 四則計算の可能性についての理解のために、四則計算の結果の特徴を的確に捉える学習の充実。 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する学習の充実。
「図形」 ◇低い	<ul style="list-style-type: none"> 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出し、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 成り立つと予想した事柄について、常に成り立つとは限らないことを、反例をあげて示す学習の充実。 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明する学習の充実。
「関数」 ◇低い	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 反比例の表から特徴を見だし、x と y の関係を数学的に表現する学習の充実。 事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する学習の充実。
「資料の活用」 ◇低い	<ul style="list-style-type: none"> 資料の傾向を的確に捉え判断の理由を数学的な表現を用いて説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表値の必要性や意味を理解するために、データを整理した表などから代表値を求める学習の充実。 データの分布の傾向を読み取り、判断することを通して、統計的に問題解決する学習の充実。

(3) 英語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「聞くこと」 ◇低い	<ul style="list-style-type: none"> 聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手からの質問や指示、依頼、提案などを聞いて、その内容や意図を正しく理解し、適切な応答をする学習の充実。

「読むこと」 ◇低い	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる。 ・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何であるかを判断する学習の充実。 ・自分の考えを示すことができるよう、主体的に内容を読み取る学習の充実。
「書くこと」 ◇低い	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりに注意して文章を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く学習の充実。
「話すこと」(参考値) ◇低い	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いて把握した内容についてやり取りすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や考えなどを即興で伝え合う学習の充実。

「今回の全国学力学習状況調査から見たもの」

校長 加藤 秀典

4月の実施時にもお伝えしましたが今回の調査では、国語・数学において昨年度まで基礎と応用に分かれた問題が一つにまとまり、さらに新しく英語が加わりました。結果は上に載せたように、3教科ともほとんどの領域で低い結果となりました。結果の詳細として載せた「今回の調査における課題」や「改善の方向」から、次のことが読み取れます。

国語は『問題から読み取った内容に対して、自分の考えを理論的にまとめ、的確に相手に伝える力』の不足です。それぞれ自分の考えは持っていて、なぜそう考えるのかを相手が理解できるよう根拠をもって、伝えることができなくてはなりません。数学は、図形領域で高い正答率がある反面、説明が求められると極端に正答率が低くなることや、関数領域での数学的解釈の不足から『基礎基本の定着と自分の考えを数学的表現で文章に表す』ことが課題です。英語は、聞く力はあってもどのように答えるか（英文に置き換える）が大きな課題であり、『書くこと』と一緒に「話すこと」は授業以外において学習の積み重ねが重要です。

このように、今後は基礎基本の定着とともに、自分の考えを客観的事象から的確に表現（言葉・文字）できることが何よりも大切です。また、今回の結果を伝えるメディアで取り上げられた家庭学習の重要性（課題）は、一中生にも大いに言えることです。学校での指導強化と家庭からの応援体制は、重要な柱としてバランスのとれた連携が必要不可欠ですので、どうぞこれからもよろしくお願いします。

余談ですが、あるPC関連を扱う企業の最近のキャッチコピーに『Smart loves problems』（スマートは問題が大好き!）があります。意味が分からず確認すると【問題が好きな人はいます。でも問題は、気づきを与えてくれます。物事を改善や変更しより良くするために、ルールや歴史、未来を変えるための推進力です。問題に秘められた可能性を引き出し、人々の希望に変えるために…。】と、ありました。子供たちにとって目の前の勉強（問題）は、面白くない一番のことです。でも、“面白くない”その先にある楽しさや喜びを知ることに取り組む意識は必ず変わり、繰り返し積み重ねることで子供たちの未来が大きく広がります。今、この努力や頑張りが将来大きな力となって返ってくることを伝えていきたいと思います。